



## コンプライアンスに前向きに取り組もう

### 【研修について】

- ・ 本研修の目安時間は、15分間です。
- ・ 講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。  
(勝手に本資料を読み進めないでください。)

【本研修の目的】

- ・ 隣の人や、後ろの人と**意見交換をしながら**、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。

## コンプライアンスに前向きに取り組もう

**集合研修への参加やテキストでの学習など、コンプライアンスについての知識を得る機会が多くあるかと思います。しかし、知識を得るだけではなく、それを基にして、業務の中で行動できなければなりません。**

**そのためには、コンプライアンスを自分の課題と考え、「自分にできることは何か」と積極的に取り組む姿勢が大切です。**

**今回の研修では、どのような考え方をすれば、コンプライアンスに前向きに取り組めるかについて学びます。**

## コンプライアンスは、自分には関係ない？

Aさんの会社は、従業員に対し、わかりやすい研修を定期的実施しています。しかしAさんは研修には参加するものの、あまり興味が持てません。コンプライアンスは、自分には関係ないと思っているのです。

**Q1**

Aさんのようにコンプライアンスを学ぶ気持ちを持たない人は、コンプライアンスについて、どのように考えていると思いますか？

A

1

次のように考えているのではないでしょうか。

締め付けるだけでしょ

面倒くさい

難しい用語が  
たくさん出てくる

仕事の役に立つの？

「〇〇してはいけない」  
ばかりで息が詰まる

コンプライアンス違反  
なんかしないし…

法律に詳しくないと  
理解できないのでは？

Aさん

次のスライドからは、このように考えている人が、コンプライアンスに興味を持つためのポイントについて説明します。

## コンプライアンスに興味を持つには(1)

前ページのような印象を持っている人は、コンプライアンスを身近な課題と考えることで、コンプライアンスに興味を持ち、前向きに取り組めるようになるはずです。

### 家族や友人のことに置き換えてみる

たとえば、コンプライアンス違反について学んだら、次のようなケースを考えてみましょう。

- ・ 家族、友人が被害者になったらどうなるか
- ・ 自分が所属している部署で、重大な違反があったらどうなるか

## コンプライアンスに興味を持つには(2)

### 自分だったらどうするかを考えてみる

新聞・テレビやニュースサイト等では、様々なコンプライアンス違反が報道されています。そのようなコンプライアンス違反のニュースを見たら、「自分だったらどうするか」を考えてみましょう。コンプライアンス違反を自分ごととして考えることで、コンプライアンスに興味を持てるようになります。

コンプライアンスに興味を持つことができたなら、次は業務において、自分に何ができるかを考えてみましょう。

次ページから、実際の業務の中でコンプライアンスを「自分ごと」と考えるためのポイントを説明します。

## ポイント1: 小さなことから取り組んでみる

小さなことでもよいので、コンプライアンス研修で学んだ課題を実際の業務の中で取り組み、その効果を確認しましょう。

たとえば、業務手順を守ることについて学んだのであれば、「現在行っている業務で、手順と異なっているものはないか」「法令違反のおそれのある手順はないか」などを確認するなどをしてみましょう。

学んだ課題を実際に行うことで、理解が深まり、新たな課題を見つけられます。見つけた課題は職場で話し合い、どのように解決できるかを検討しましょう。

**例**

- ・ 「このくらい問題ない」という気持ちを持たない
- ・ ミスや失敗は隠さず、すぐに報告する



## ポイント2:「自分ができること」を考える

コンプライアンスの研修では、「禁止されていること」と「推奨されること」の両方を学んでいるはずですが、「禁止されていること」をしてはいけないのはもちろんですが、そのことばかりを考えると、息が詰まるかもしれません。「推奨されること」から、自分ができるとは何かを考えて、積極的に取り組みましょう。

### 例

- ・ お客様や取引先に信頼される行動を考えてみる
- ・ 職場のコミュニケーションを良くする行動を考えてみる



## ポイント3: 他の人と一緒にできることを考える

自分に何ができるかを考えたら、次は、職場の仲間と協力して、何ができるかを考えてみましょう。

仕事は一人ではできません。必ずあなたを支える仲間がいます。その仲間の力を借りることで、様々なことができるようになるはずです。職場で、コンプライアンスについて話し合ったり、気軽に情報共有したりする機会を設けてみましょう。

**例**

- ・ コンプライアンスの気になるニュースについて話してみる
- ・ 「ヒヤリハット」について、各自の経験を話し合う



## まとめ

- 身近なケースを考えることで、コンプライアンスの必要性を理解しましょう
  - コンプライアンス違反によって家族や友人、職場などにどのような影響があるか
  - コンプライアンス違反についてのニュースを見たら、自分だったらどうするか
- 次のことを心掛け、業務にコンプライアンスを取り入れましょう
  - 小さなことから取り組んでみる
  - 「自分ができること」を考える
  - 他の人と一緒にできることを考える

**コンプライアンスを「自分ごと」と考えると、  
前向きに取り組めるようになります。**

**会社と働く人たち、その家族を守るのは  
あなたのコンプライアンス行動です。**

**お疲れ様でした。**